

## 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	有限会社神苑	事業所名	複合型サービス事業所 西王母
所在地	(〒866-0882 ) 熊本県八代市松江本町 2-50		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

通い、泊まり、訪問看護、訪問介護をその方に合った組み合わせで御利用していただき、在宅生活の継続を支援しております。通いではその方にあつたりハビリを行い、歩行の維持と改善、下肢筋力の低下防止、下肢、腕などの可動域向上をめざし、無理なく楽しんで頂くよう日々頑張っております。リハビリの後はフットマッサージ、ウォーターマッサージを利用し、身体をほぐして頂いています。泊まりは計画的な泊まりの他に、緊急な受け入れも行っており、馴染みのスタッフにて対応します。訪問介護にて食事介助、排せつ介助、外出支援、口腔体操など生活面での困りごとの支援と楽しみの支援を行っております。又、緊急な訪問や買い物の支援などを行っており、在宅生活の維持に努めております。訪問看護が必要な方は、主治医の訪問看護指示書に添った処置を在宅で行っています。又、体調異常など緊急の訪問看護も行っております。

本年度も感染予防策を十分に行いながら八代文化祭や妙見祭見学、ボランティアの方の音楽祭、いきいきサロンの参加など地域の方々との交流も積極的に行っております。又、当施設で自分らしく人生の最終段階を迎えたいと希望される方には、ターミナルケアを行っております。ご利用者様、家族様の意向に添いながら、感謝と尊厳を持ち、人の温もりを感じる事が出来るように最期まで看護、介護を提供しております。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 12 月 31 日	従業者等自己評価 実施人数	( 11 ) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 3 月 31 日	出席人数 (合計)	15 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 2 人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 ( 4 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPに基づいて災害時の緊急時対応の訓練や環境を整えていく。</li> <li>災害備蓄品の確認と保存方法の明確化、安否確認方法の明確化、連絡先リストの再確認、避難箇所、避難方法などの確認をできるところから行っていく。又災害時の地域への貢献を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机上での避難箇所や避難方法などを話し合った。又備蓄品の確認と補充を行った。</li> <li>・台風や大雨などの時には近所の方に施設での避難の声かけを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に火災の避難訓練は行ったが災害時の家族や職員への連絡方法などの確認など定期的に行っていない。</li> <li>・地域の方に災害時の緊急避難場所としての開放などの声掛け、備蓄品の点検など災害に対する対応を考えるようになった。</li> </ul>
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者個々の日々変わる情報の共有を図り、利用者のやりがいや生きがいを考え、生活の充実感を得ていただける支援を行う。</li> <li>・利用者個々の尊厳を尊重した言葉かけや援助の方法を考え援助を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の状況、心身の状況の変化を早期に気づき話し合えるようになった。</li> <li>・個々の以前の趣味などを生かした活動を行いやりがい、楽しみを持った生活の支援をどのようにするか考えている。</li> <li>・認知症の方の対応等研修を含め職員同士で遠慮なく意見を出し合い勉強していくように考えている。</li> </ul>

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護、看護やデイサービス時の情報、自宅の情報など本人の状態変化の把握を迅速に行い、介護士や看護師、他多職種で共有し、個々にあったサービスを随時更新する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料老人ホームや自宅への訪問看護・介護を行い在宅での生活支援を切れ目ない支援の継続が出来ている。</li> <li>・訪問診療時には看護師より主治医へ状態報告を行い、薬や指示の変更などスタッフ全員に伝え共有できている。又かかりつけ薬局にも薬などの相談を行うこともあり多職種にて連携出来ている。</li> <li>・福祉用具を利用し自分で歩く、動くために福祉用具専門相談員の方にアドバイスをもらっており生活レベルの維持向上につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ同士で日々のケアの変更、利用者の状態把握など共有できるようになった</li> </ul>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターミナルケアに関する研修を積極的に行い、ターミナルケアを必要とする要介護者の受け入れができる体制を整え家族と一緒に安心して最期を過ごすことができる施設を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は1名のターミナルケアを行った。家族様と十分話し合い、意向に沿いながら主治医、看護師、介護士、薬局、福祉用具事業所と多職種で支援を行った。又、緊急時の連絡体制も共有し、スタッフの不安解消を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターミナルケアでは本人や家族の意向を尊重し臨機応変に対応することができるようになった。その際対応状況を職員全員と即座に共有できるようになった。</li> </ul>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に地域包括ケアシステムの周知を行い、地域との交流を深め、いろいろな場面で地域に貢献できる施設を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は毎月定期的に地域の行事(いきいきサロン)に参加していただき地域の方との積極的な交流を行った。又地域の方の困りごとや介護の事について話を聞く機会を持つことができた。又、八代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンに参加することができ地域の方と定期的な交流ができるようになった。</li> <li>・地域の困りごとなどを聞く機会を持つことができたがまだ日常の困りごとなどを</li> </ul>

		文化祭や妙見祭の見学、地域のどんどの参加など地域の行事の参加を行った。	聞くまではない。 ・本年度2月に認知症カフェの再開を行う予定である。(2/16に第一回目を開催した。)
--	--	-------------------------------------	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師の資格取得を目指し、看護学校に入学し勉強を始めた職員がいる。また、看護師の資格を取って卒業予定の職員がいるなど、職員に応じた中長期的な育成が行われている。</li> <li>・年間の研修計画(事業所内)が立てられており、計画に沿った研修が行われている。</li> </ul> <p>これと併せて、事業所外で行われる研修会にも積極的に参加されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、些細なことであっても職員間の連携・情報共有を行っていただき、ケアの質の向上に努めてください。</li> <li>・運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いが行われている。</li> </ul> <p>参加者から寄せられる地域の情報などは、事業所の運営に活用されている。</p> <p>また、ご家族から出される意見については、サービス向上の視点から改善等に取り組まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議には、地域の方やご家族も参加され、積極的な意見交換ができています。</li> <li>・利用者等の情報共有のため、ICT 機器の活用をすすめています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年度にできていなかった箇所の災害備蓄品の確認と保存方法の明確化、安否確認方法の明確化、連絡先リストの再確認、避難箇所、避難方法などの確認をできるところから行っていく。又災害時の地域への貢献を考える。</li> <li>・施設内外の積極的な研修の参加による自己研鑽の継続。</li> <li>・職員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックなどを活用した自身のストレスへの気付きと職場環境改善、相談しやすい環境づくりの促進を行う。</li> </ul>

		<p>る。</p> <p>今後は、LINE を活用した情報共有に取り組まれる予定との報告を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人情報保護」については、研修計画に基づき勉強会が実施されている。</li> <li>・利用者へ提供するサービス向上のため研修に取り組まれており、それは、職員の安全(腰痛予防等)にもつながっている。</li> <li>・作成されているBCPに基づき机上の訓練が行われている。</li> <li>・必要な備品等が洗いださされていて、随時備品の在庫状況が確認されている。</li> <li>・災害時には、施設を自主避難所として地域開放しているため、炊き出しなどの訓練も行われている。</li> <li>・火事、地震、大型台風などにより屋外非難が必要な場合に極力預かっている薬なども持ち出しやすいよう日頃から準備（考えておく）することも必要だと思います。</li> <li>・安全が確認できる時間に応じ、行動や持ち出しに応じ、行動や持ち出し品のプライオリティを考えておくことが重要だと思います。</li> <li>・夜間の緊急時対応に不安を持っている職員の方が多いとのことですので、緊急時の連絡対応の訓練等を定期的に行い、実際の有事の際に対応できるようにお願いします。</li> </ul>	
<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もアンケートで回答された要望等の計画書への反映をよろしくお願いします。</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護というサービスの強みを生かすために、今後も両職種連携を高めてください。</li> </ul> <p>定期的にご家族に意見をうかがう機会を設けるほか、アンケ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職や看護職が互いに情報共有し、尊厳を持って利用者個々の特性に応じた言葉かけや援助の方法を考える</li> </ul>

	<p>ート調査を行い意見を吸い上げる取り組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日ごろから利用者の状況確認を行い、利用者の身体等の変化に沿った対応をお願いします。</li><li>・利用者へ適切なケアを提供できるよう、今後とも情報共有等をよろしくお願いします。</li><li>・同居していた頃、毎月ケアマネさん、デイサービスの担当の方が訪ねていただきましたが、母本人がいる前で聞かれると話しにくいことも多々あり、状態や気持ちの面等正確に伝わらないのではと感じていました。玄関先でもよいので「他にお困りごとはありませんか?」と一言掛けていただくと嬉しく思います。</li><li>・主治医との連携は密に行われていて支援が行われているという報告を受けています。</li></ul> <p>本人、ご家族の意向に沿いながら看取りの支援も行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後も利用者の状況変化に迅速に対応できるよう、関係機関との連携をよろしくお願いします。</li><li>・介護と看護の境目が曖昧にならないよう、それぞれの役割に沿ったケアをお願いします。</li><li>・介護職と看護職の業務内容を互いに把握し、利用者へのプランが向上するよう協力を続けてください。</li><li>・年間の研修計画(事業所内)が立てられており、計画に沿った研修が行われている。これと併せて、事業所外で行われる研修会にも積極的に参加されている。</li><li>・職員研修会では、看護職が介護職に対して病気の理解や対応について指導をする機会が設けられている。</li></ul>	
--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族に対するサービスの説明は、入居時だけではなく介護計画の作成時や病状や介護状況の変化があった際に丁寧に行われている。</li> <li>・本人や家族から支援の追加や希望等があった場合は今後とも希望に沿った支援をお願いします。</li> <li>・今後とも本人や家族に十分な説明を行い、医療機関との連携を密にケアをお願いします。</li> <li>・利用者や家族に「本人の意思」を確認しながら、サービス提供が行われている。利用者の希望や意向の確認は、丁寧に行われている。</li> <li>・主治医との連携は密に行われていて支援が行われている。本人、ご家族の意向に沿いながら看取りの支援も行われている。</li> <li>・訪問看護をしている友人から「業務以外の事をお願いされることがあり、どう断るか、どこまで自分の時間を削れるか等々悩みが多い」と言っていたので、もしそのようなことがあれば他のスタッフの考えもききながらストレスが溜まらないようにするのも大切だと思います。</li> <li>・本人、ご家族の意向に沿いながら看取りの支援も行われている。</li> <li>・本人、ご家族の思いの変化にも気を配り、状況に応じた適切な対応がなされている。</li> </ul>	
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院・退院の際には、職員も病院でのカンファレンスへ参加し、主治医等から状態説明や今後の指示を受けている。</li> <li>・利用者が安心して生活できるよう今後も医療機関と連携し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員で利用者の日々の状態把握を迅速に共有し、医療機関や行政、地域包括支援センター、地域の方々と連携し楽しく安心した生活できるような支援を考える。</li> </ul>

		<p>対応をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約の際には、かかりつけ医を明確にし、体調報告や緊急時の連絡、相談を行うことができる体制が整えられている。</li> <li>・緊急時に迅速に対応できるよう事前に家族等へ対応について聞き取りをお願いします。また、本人の変化にすぐに気付くことができる様、日々意識し対応をお願いします。</li> <li>・運営推進会議には、市町村担当者、地域包括支援センターの職員も参加していて、事業所の実情やケアサービスの取り組みなどが伝えられている。</li> <li>・運営推進会議の際に積極的な意見交換ができています。今後とも引き続きよろしくお願いします。</li> </ul>	
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(運営推進会議録) 書面にて確認できる状況にされています。職員への回覧も行われています。</li> <li>・事業所自体が地域の一員であるという意識を持ち、清掃活動やお祭りなどに参加し交流している。</li> <li>・利用者も地域のサロンへ参加し、地域の一員として過ごしている。</li> <li>・事業所が運営するカフェ(認知症カフェ)も再開予定である。</li> <li>・避難場所提供にあたっては、停電、断水なども考慮した準備を。マスク、タオル、ミネラルウォーター、簡易トイレ、ペーパー介護用品、予備の毛布、懐中電灯などが必要かと思えます。</li> </ul> <p>台風時などは窓から離れた場所の確保も必要だと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流する機会を積極的に設け、利用者が地域の一員としての活動ができるように支援するとともに事業所の役割を考えていく。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも対応職員の体制強化をよろしく申し上げます。</li> <li>・担当職員のメンタルケアも必要。家族とのかかわり方など担当外の職員ともコミュニケーションをとりながら進めていければいいですね。</li> <li>・今後も本人・家族への支援をよろしく申し上げます。</li> <li>・研修等を実施し、職員の理解を深めていただくようお願いします。</li> <li>・近隣の地域にお住いの利用者の送迎は、本人やご家族の要望を聞きながら、細やかな対応がなされている。</li> <li>・事業所が運営するカフェ（認知症カフェ）が再開予定である。</li> <li>・近隣住民などに対する日常的な困りごとの相談にのったり災害（台風）等の際は訪問したりして心配事がないか確認する取り組みを通して、地域課題の把握や改善につなげている。</li> <li>・外出の機会が少なくなりがちなので気分転換できる催しなどはとても大切。ただ、特別なことの無い日常の中でも孤独を感じる事や劣等感を感じることなく過ごせることが大切と思います。</li> <li>・今後も地域との連携を深め、交流等の機会を設けていただくようお願いします。</li> <li>・近隣住民などに対する日常的な困りごとの相談にのったり災害（台風）等の際は訪問したりして心配事がないか確認する取り組みを行われている。</li> <li>・地域の中で施設の役割を果たす努力は、サービスを利用さ</li> </ul>	
--	--	--	--

		<p>れている方たちを支える地域の力につながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も対応策の検討を引き続き行ってください。</li> </ul>	
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議にて情報を行政や包括、地域の代表者へ発信していただくことで連携が図られていると思います。包括主催の権利擁護などの研修会にも積極的に参加いただいております。今後とも宜しくお願ひいたします。</li> <li>・スタッフの皆様がいつも明るい、元気、丁寧、優しい対応で感謝しています。又今回さらなる向上のために様々な取り組みをされていることを知り、ありがたく、頼もしく感じました。</li> <li>・利用者の適切な目標を設定し、小規模多機能型居宅介護の特性を生かした対応をお願いします。</li> <li>・一般住宅での看取り等も検討し、課題点等あれば運営推進会議で報告していただければと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も職員全員が利用者の日々変化する状況に気付く力を身に着け、早期の対応ができ安心して生活できる環境づくりを目指す。</li> </ul>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							

① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践					
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○			<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医との連携、在宅での療養や介護についての支援、終末期について、サービス計画、介護負担軽減、地域サービスとの連携などについて理念を上げており、利用者や家族、地域にとって必要な存在となることを謳っている。</li> <li>・カンファレンスにて唱和し日頃の援助の振り返りを行っている。</li> </ul>			
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している。		○		<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスで理念の唱和を行っている。</li> </ul> <p>又、常に職員の目の届くところに提示し、意識付けを行い、理念の共有を図っている。ケアに行き詰ると立ち返り確認できるようにしている。</p>			
(2) 人材の育成					
① 専門技術の向上のための取組					
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○		<p>・看護師の資格取得を目指し、看護学校に入学し勉強を始めた職員がいる。また、看護師の資格を取って卒業予定の職員がいるなど、職員に応じた中長</p> <p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得、キャリアアップに対しての話し合いを行い支援している。</li> </ul>			

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員に対して担当職員がマンツーマンで育成教育を行っている。</li> <li>・本年度は1名八代看護学校に入学した。准看護師資格を取得するための学業支援を継続している。</li> <li>・介護支援専門員の資格を取るための専門研修の環境を整えている。</li> <li>・西王母で喀痰吸引などの実技演習を行い、「認定特定行為業務従事者」（喀痰吸引など）として1名が認定を受け登録を行った。</li> </ul>	<p>期的な育成が行われている。</p>	<p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
4	<p>○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は内部・外部研修にて「高齢者虐待・身体拘束」「口腔ケア」「権利擁護」「差別解消」「看取りについて」「ハラスメント・法令遵守」「リハビリテーション」「認知症」「感染症」などを行った。</li> <li>・実践者研修を1名受け、介護力の向上とリーダーとしての指導力の向上の勉強の機会を確保できた。</li> <li>・褥瘡に関する研修の機会を設け看護師のみならず介護士も参加し勉強する予定である。(2/19 予定)</li> </ul>	<p>年間の研修計画(事業所内)が立てられており、計画に沿った研修が行われている。</p> <p>これと併せて、事業所外で行われる研修会にも積極的に参加されている。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>

② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保						
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○		<p>・引き続き、些細なことであっても職員間の連携・情報共有を行っていただき、ケアの質の向上に努めてください。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>・ 1回/月のカンファレンスで情報の共有、問題提起、解決に向けての話し合いを行っている。</p> <p>又、毎朝の申し送り又は職員メールにて確認し前日の状態や気になること、看護スタッフが得た医療情報、指示など情報の共有ができています。</p> <p>・ 些細な体調の変化であっても看護師に報告し体調悪化の早期発見につなげるようにしている。</p>				
(3) 組織体制の構築						
① 運営推進会議で得られた意見等の反映						
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○		<p>・ 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いが行われている。</p> <p>参加者から寄せられる地域の情報などは、事業所の運営に活用されている。</p> <p>また、ご家族から出される意見については、サービス向上の視点から改善等に取り組まれている。</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>・ 運営推進会議にて委員の方々に意見をいただき職員と共有しサービスに反映している。</p> <p>・ 運営推進委員会の評価などでコメントを頂きサービスに反映している。</p>				

					・運営推進会議には、地域の方やご家族も参加され、積極的な意見交換ができています。	
<b>② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</b>						
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職、リーダーとの定期的な面談を行い、仕事に対しての悩み要望を話し合っている。</li> <li>・職員の定期的な健康診断を行っている。又体調不良時などの勤務の変更など臨機応変に行っている。</li> <li>・本年度は職員同士協力しながら休憩時間の確保を積極的に行っている。</li> <li>・研修のための就業時間の配慮と看護学校の学業支援を行っている。</li> <li>・夜間のオンコール体制を取っており夜間帯の異常時にすぐ対応できるようにし夜勤者のメンタル面でのサポートを考えている。</li> </ul>				

<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>						
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備						
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者等の情報共有のため、ICT機器の活用をすすめている。今後は、LINEを活用した情報共有に取り組まれる予定との報告を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(5) 安全管理の徹底</b>						
① 各種の事故に対する安全管理						
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>「個人情報保護」については、研修計画に基づき勉強会が実施されている。</li> <li>利用者へ提供するサービス向上のため研修に取り組み、それは、職員の安全(腰痛予防等)にもつながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</li> <li>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</li> </ul>

② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成されているBCPに基づき机上の訓練が行われている。</li> <li>・今後は、LINEを活用した情報共有に取り組みられる予定との報告を受けている。</li> <li>・必要な備品等が洗いだされていて、随時備品の在庫状況が確認されている。</li> <li>・災害時には、施設を自主避難所として地域開放しているため、炊き出しなどの訓練も行われている。</li> <li>・火事、地震、大型台風などにより屋外非難が必要な場合に極力預かっている薬なども持ち出しやすいよう日頃から準備（考えておく）することも必要だと思います。</li> <li>・安全が確認できる時間に応じ、行動や持ち出しに応じ、行動や持ち出し品のプライオリティを考えておくことが重要だと思います。</li> <li>・夜間の緊急時対応に不安を持っている職員の方が多いとの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>

				ことですので、緊急時の連絡対応の訓練等を定期的に行い、実際の有事の際に対応できるようにお願いします。	
<b>II サービス提供等の評価</b>					
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>					
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>					
<b>① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</b>					
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○	<p>・今後もアンケートで回答された要望等の計画書への反映をよろしくお願いします。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・サービス計画書の変更時期に本人、家族にアンケートをとり生活状況や介護力、要望を聞き取り、対応を考え計画書に反映するようにしている。</p> <p>又、利用者の身体、精神的症状の変化にて在宅生活が難しい場合は今後の生活を一緒に考えるようにしている。</p> <p>・年度末に利用者の家族全員にアンケートを取り、意見を反映している。</p>	<p>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○	<p>・看護小規模多機能型居宅介護というサービスの強みを生かすために、今後も両職種の連携を高めてください。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>生活面でのアセスメント（介護からの視</p>	<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたア</p>

		点) 医療面でのアセスメント(看護からの視点)をカンファレンスで話し合い共有するようにしている。		セスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
<b>② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成</b>				
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	○	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人の状況変化時、ケアプラン変更時などに利用者、家族より意向、生活状況を聞き取り、現在困っている事、本人がしたい事、目標にするものを一緒に考え、計画に反映している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にご家族に意見をうかがう機会を設けるほか、アンケート調査を行い、意見を吸い上げる取り組みを行っている。</li> </ul> <p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス計画の他に、個別サービスを立て、個々にあったリハビリ、生活機能の維持、精神的安定、その方の嗜好を考え計画している。</li> <li>・個々の利用者が有する能力をいかに活用できるかを考え生活機能の維持を心掛けている。</li> <li>・個々の楽しみの提供や機能訓練の機会が充実していない時があり日常的に提供</li> </ul>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要点であるといえます</p>

		できるように従業員の人数、動き、時間配分など再度見直している。			
<b>③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成</b>					
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○		<p>・日ごろから利用者の状況確認を行い、利用者の身体等の変化に沿った対応をお願いします。</p> <p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・入退院で明らかな状況変化や、リスクを予測し、必要とされる対象者に関しては、かかりつけ医に相談をし、助言や指示を受け、スタッフに伝達している。</p> <p>・転倒リスクに対する下肢筋力の低下予防や認知症の進行予防、病状の進行具合による観察個所などカンファレンスで話し合いサービス内容に入れるようにしている。</p>			
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>					
<b>① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映</b>					
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○		<p>・利用者へ適切なケアを提供できるように、今後とも情報共有等をよろしくをお願いします。</p> <p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p>病院受診や訪問診療時の付き添い、訪問介護・看護時の状態観察など状況変化の早期発見に努めている。体調変化、薬の変更など朝の申し送りやカンファレンス、職員メールなどで即時に伝達し適宜に対応の変更を行っている。</p>			

<b>③ 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映</b>							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・同居していた頃、毎月ケアマネさん、デイサービスの担当の方が訪ねていただきましたが、母本人がいる前で聞かれると話しにくいことも多々あり、状態や気持ちの面等正確に伝わらないのではと感じていました。玄関先でもよいので「他にお困りごとはありませんか？」と一言掛けていただくと嬉しく思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
<b>③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有</b>							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医との連携は密に行われていて支援が行われているという報告を受けています。</li> <li>・本人、ご家族の意向に沿いながら看取りの支援も行われている。</li> <li>・今後も利用者の状況変化に迅速に対応できるよう、関係機関との連携をよろしく願います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
<b>① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供</b>							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護と看護の境目が曖昧にな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活</li> </ul>

	<p>の専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている</p>	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職では訪問看護時に訪問看護指示書内容に沿った対応を行っている。その内容や状態を看護職より介護職員、ケアマネに報告し情報共有している。</li> <li>・利用者の体調変化があった場合に介護・看護職より全職員へ報告を行い、看護職より対応、観察要件を指示している。又主治医へ看護職より報告を行っている。</li> <li>・介護では訪問時に在宅での排泄、食事、服薬、体調観察などの支援、通所では入浴時の全身状態、動きの観察、食事や排泄の状態観察、普段との様子の違いなど多くの気付きなど観察記録し生活の質の維持向上を目指し看護職と共有し支援している。業務の状況により役割分担ができています。</li> </ul>	<p>らないよう、それぞれの役割に沿ったケアをお願いします。</p>	<p>かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが必要です</p>
20	<p>○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回/月と臨時のカンファレンス、タブレット記録の確認、朝の申し送り、職員メール等利用し、利用者の状態をスタッフ全員で共有することを心がけている。</li> <li>・介護職が看護職の仕事内容を把握する</li> </ul>	<p>・介護職と看護職の業務内容を互いに把握し、利用者へのプランが向上するよう協力を続けてください。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</p>

		<p>ことによって医療的な方面からの視点を身につけることができ、医療的情報を提供することができ、体調悪化の早期発見につなげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤時に利用者の体調異常や気になるところがあると看護職員に連絡を取れるようにオンコール体制を取っている。</li> </ul>			
<b>② 看護職から介護職への情報提供および提案</b>					
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職が診察結果の情報や主治医からの指示を他の職員に伝達している。又、処置や予防、観察内容など細かな指示もできている。利用者の疾病、生活状況を踏まえたうえで予後予測を伝達できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の研修計画(事業所内)が立てられており、計画に沿った研修が行われている。これと併せて、事業所外で行われる研修会にも積極的に参加されている。</li> <li>・職員研修会では、看護職が介護職に対して病気の理解や対応について指導をする機会が設けられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</li> </ul>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>					
<b>① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供</b>					
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族に対するサービスの説明は、入居時だけではな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>

	説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・管理者、ケアマネジャーを通して初回面接時サービスの内容について説明している。重要事項説明書などで、当事業所の理念・サービスの仕組みについて説明を行い十分理解していただいたうえで契約している。不明な点があれば随時対応している。	く介護計画の作成時や病状や介護状況の変化があった際に丁寧に行われている。	✓
<b>② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明</b>				
<b>23</b>	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○ <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・作成した計画案を利用者、家族に説明し意向にあったものかを確認し理解を得ている。本人や家族から支援の追加や希望などがあった場合は、本人や家族、職員等と話し合いサービスの変更を行っている。	・本人や家族から支援の追加や希望等があった場合は今後とも希望に沿った支援をお願いします。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
<b>24</b>	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○ <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・医療処置が必要な方は、登録時に病院より指導を受け、注意点など十分理解し、本人家族に分かりやすく説明し理解を得	・今後とも本人や家族に十分な説明を行い、医療機関との連携を密にケアをお願いします。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

		<p>ている。(皮膚潰瘍の処置、血糖測定、在宅酸素療法など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内潰瘍の洗浄、体調の悪化時の点滴や服薬の追加など本人や家族に説明を行い主治医やかかりつけ薬局と連携している。</li> </ul>		
<b>③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有</b>				
25	<p>○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、家族からの聞き取りを行い、可能な限り本人、利用者の希望、意向を反映するようにしている</li> <li>・送迎時間の変更、デイサービスの変更、緊急時の訪問、家族の仕事に合わせたデイサービスの時間延長などその方や家族に合わせた臨機応変な利用の支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族に「本人の意思」を確認しながら、サービス提供が行われている。利用者の希望や意向の確認は、丁寧に行われている。</li> </ul>	<p>✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</p>
26	<p>○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の介護力が何処まで対応できるか、または本人の一人暮らしを何処まで支援できるか家族と話し合い、新たな問題が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医との連携は密に行われていて支援が行われている。</li> <li>本人、ご家族の意向に沿いながら看取りの支援も行われている。</li> <li>・訪問看護をしている友人から</li> </ul>	<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>

		<p>生じた場合は利用者、家族を含めその都度話し合っている。又、在宅生活の限界時期などを本人や家族の意向を伺い、ホームへの入居、介護施設への申し込みなど一緒に考え動いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最期まで現在の居場所を変わらず生活できるように訪問看護、訪問介護にて毎日の体調観察、食事、整容、排せつなど生活全般を援助しながら家族との関わりを深めている。</li> </ul>	<p>「業務以外の事をお願いされることがあり、どう断るか、どこまで自分の時間を削れるか等々悩みが多い」と言っていたので、もしそのようなことがあれば他のスタッフの考えもききながらストレスが溜まらないようにするのも大切だと思います。</p>	
27	<p>○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度1名のターミナルケアを行った。ターミナルケアの利用者において主治医からの病状や予後の説明時に家族と共に立会いを行っている。利用者、家族の不明な点はないか主治医に確認している。主治医に状態を報告し、状態変化に対応できるように職員で共有している。また家族との連絡も密に行いメンタル面での援助を行っている。</li> <li>・夜間のオンコール体制を取っており夜間帯の異常時にすぐ対応できるようにし夜勤者のメンタル面でのサポートを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人、ご家族の意向に沿いながら看取りの支援も行われている。</li> <li>・本人、ご家族の思いの変化にも気を配り、状況に応じた適切な対応がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</li> </ul>

<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
<b>① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行</b>							
<b>28</b>	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院・退院の際には、職員も病院でのカンファレンスへ参加し、主治医等から状態説明や今後の指示を受けるようにしている。</li> <li>・利用者が安心して生活できるよう今後も医療機関と連携し対応をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
<b>② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有</b>							
<b>29</b>	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約の際には、かかりつけ医を明確にし、体調報告や緊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> </ul>

	<p>治医等と相談・共有することができている</p>	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約の段階でかかりつけ医を明確にし、日ごろの体調報告や緊急時の連絡、相談を行っている。夜間連絡がつかない主治医や主治医不在の場合は救急搬送、救急外来受診となる。</li> <li>緊急搬送先は予め家族より聞き取り、記載してある。</li> <li>・看取りの方の緊急時の対応はあらかじめ連絡方法を家族や主治医と話し合い取り決めている。(状態の変化に伴って報告を随時行っている。)</li> </ul>	<p>急時の連絡、相談を行うことができる体制が整えられている。</p>	<p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>
<p><b>③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築</b></p>				
30	<p>○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている</p>	<p>○</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての利用者の緊急時の対応を登録時に家族に聞き取り、カンファレンスなどで申し送っている。緊急時の緊急搬送先、連絡体制（家族、主治医）は全員すぐ分かるようにしている。</li> </ul>	<p>・緊急時に迅速に対応できるよう事前に家族等へ対応について聞き取りをお願いします。また、本人の変化にすぐに気付くことができる様、日々意識し対応をお願いします。</p>	<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
<p><b>(2) 多職種との連携体制の構築</b></p>				
<p><b>① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討</b></p>				
31	<p>○ 運営推進会議等において、</p>	<p>○</p>	<p>・運営推進会議には、市町村担</p>	<p>✓ 「利用者のために必要となる、介</p>

	利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている					<p>当者、地域包括支援センターの職員も参加していて、事業所の実情やケアサービスの取り組みなどが伝えられている。</p> <p>・運営推進会議の際に積極的な意見交換ができています。今後とも引き続きよろしくをお願いします。</p>	<p>護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
<b>① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信</b>							
<b>32</b>	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見るような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		<p>・書面にて確認できる状況にされています。</p> <p>職員への回覧も行われています。</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
						<p>・職員に対して運営推進会議の内容は書類にて報告している。</p> <p>適宜に報告するようしており、運営推進会議での意見は改めてカンファレンスにて報告している。</p>	
<b>33</b>	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		<p>・事業所自身が地域の一員であるという意識を持ち、清掃活動やお祭りなどに参加し交流している。</p> <p>・利用者も地域のサロンへ参加</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p>
						<p>・台風情報が入ると近所の方に避難場所の提供の声掛けを行った。</p> <p>・施設行事のチラシを配布し地域の方の</p>	

		<p>参加を呼び掛けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度2月に認知症カフェ（神苑カフェ）を行う予定で地域の方に気軽に来ていただくようにチラシを配り、声をかけた。</li> <li>・地域の高齢者夫婦の世帯の方に、1回/週の移動販売が来ていることをお知らせし、近くで買い物ができることを呼びかけた。</li> </ul>	<p>し、地域の一員として過ごしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が運営するカフェ（認知症カフェ）も再開予定である。</li> <li>・避難場所提供にあたっては、停電、断水なども考慮した準備を。</li> </ul> <p>マスク、タオル、ミネラルウォーター、簡易トイレ、ペーパー介護用品、予備の毛布、懐中電灯などが必要かと思います。</p> <p>台風時などは窓から離れた場所の確保も必要だと思います。</p>	<p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>				
<b>① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供</b>				
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>訪問看護ステーションを開設していない為登録者以外の訪問看護はできない。</p>		<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よく</p>

						できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<b>② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ</b>						
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている					<p>・今後とも対応職員の体制強化をよろしくお願いします。</p> <p>「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				
		・日中は看護師が常駐している為、痰吸引の受け入れには問題ないが、夜間の対応が現在は難しい。				
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				
		受け入れる体制が整っていない。				
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れるこ	○				<p>・担当職員のメンタルケアも必要。家族とのかかわり方など担</p> <p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p>

	とができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期に入った利用者の家族様と看取りに関する話し合いを丁寧に行い、家族、主治医、看護職、介護職の連携を十分行うようにしている。今後も家族の要望があれば受け入れる体制ができている。</li> <li>・看取りケアの研修を受けその中にグリーフケアの勉強を行い家族支援の勉強を行った。今後研修した内容を実際のケアに生かしていく。</li> </ul>	<p>当外の職員ともコミュニケーションをとりながら進めていければいいですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も本人・家族への支援をよろしくお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>				
<b>① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解</b>				
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムについて職員は書類にて理解をしているが、新規職員等十分に理解していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を実施し、職員の理解を深めていただくようお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
<b>② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開</b>				
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の地域にお住いの利用者の送迎は、本人やご家族の要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」につ</li> </ul>

	<p>限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している</p>	<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の集合住宅に限定はしていない。</li> <li>・受け入れの地域に関しては送迎時間を考慮して家族様と話し合いを行い受け入れている。</li> </ul>	<p>を聞きながら、細やかな対応がなされている。</p>	<p>いて、充足度を評価します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
<p>③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等</p>				
<p>40</p>	<p>○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている</p>	<p>○</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に対して本人が興味を示されるようなものを家族や職員、地域の関係者に情報をもらい、本人の生活に活気ややりがいを見いだせるように対応策を考えている。</li> <li>・本年度2月に「神苑カフェ」を開催し何気ない会話から地域の方の悩み事を伺う機会を持てるように考えている。また複雑な介護保険の情報なども発信していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が運営するカフェ(認知症カフェ)が再開予定である。</li> <li>・近隣住民などに対する日常的な困りごとの相談にのったり災害(台風)等の際は訪問したりして心配事がないか確認する取り組みを通して、地域課題の把握や改善につなげている。</li> <li>・外出の機会が少なくなりがちなので気分転換できる催しなどはとても大切。ただ、特別なことの無い日常の中でも孤独を感じる事や劣等感を感じることなく過ごせることが大切と思います。</li> <li>・今後も地域との連携を深め、交流等の機会を設けていただ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>

					くようお願いします。		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活での家族への介護のアドバイスや本人が心地よい生活について職員で話し合い対応策を考えている。</li> <li>・本年度は地域の方との交流を積極的に行い地域の方の困りごとなどの相談を受けける体制を整えている。</li> </ul> 又地域の方が気軽に施設を訪れなじみの関係ができるように「神苑カフェ（認知カフェ）」を開催する予定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民などに対する日常的な困りごとの相談にのったり災害(台風)等の際は訪問したりして心配事がないか確認する取組みが行われている。</li> <li>・地域の中で施設の役割を果たす努力は、サービスを利用されている方たちを支える地域の力につながっている。</li> <li>・今後も対応策の検討を引き続き行ってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの皆様がいつも明るい、元気、丁寧、優しい対応で感謝しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <b>[具体的な状況・取組内容]</b> ・訪問看護、介護で在宅生活の維持を目標にするために体調管理（医療的処置も含む）、リハビリ、薬管理、精神的な援助などの対応を行い、安心できるようにその方の目標にあった支援を考えている。	又今回さらなる向上のために様々な取り組みをされていることを知り、ありがたく、頼もしく感じました。 ・利用者の適切な目標を設定し、小規模多機能型居宅介護の特性を生かした対応をお願いします。	
④	在宅での療養生活の継続に対する安心感			
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <b>[具体的な状況・取組内容]</b> ・緊急の状態悪化時に主治医との連携、看護職訪問や病院付き添いなどを行う事で利用者やその家族の安心感が得られている。 ・経管栄養、点滴、インスリン注射、訪問看護でのリハビリなど医療が必要な方の在宅療養支援を行っている。	・引き続き対応をお願いします。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の集合住宅にて看取りを行っている。訪問介護、看護を毎日行い、家族、主治医、看護職、介護職との連携を密に行い、本人家族の安心感が得られている。</li> <li>・一般住宅での看取りの体制は職員の人員の問題があり現在はできていない。</li> </ul>	<p>・一般住宅での看取り等も検討し、課題点等あれば運営推進会議で報告していただければと思います。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>